

生研第21037号

令和3年12月10日

校長・准校長様

生物科様

大阪府高等学校生物教育研究会

会長 柴原 信彦

令和3年度大阪府高等学校生物教育研究会
第4回学術講演会について（案内及び依頼）

貴校ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃は本研究会の活動に特別のご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年度生物教育研究会の学術講演会を下記のとおり開催いたします。つきましては、校務多忙のこととは存じますが、先生のご出席について、ご配慮いただきますようお願いいたします。「ジンベエザメにもメンタルの強い弱いがある？—水族館が求められる科学的探究」と題して、株式会社海遊館 獣医師 伊東 隆臣 先生に講演をしていただきます。生物教員ならぜひ聴取し学んでほしい内容です。

記

1. 日時： 令和4年1月21日（金） 午後3時00分～5時00分

2. 場所： ホテルアウィーナ大阪 3階 生駒

（大阪府大阪市天王寺区石ケ辻町19-12）

（近鉄 上本町駅から約400m）

3. 内容： 講師： 海遊館 獣医師

伊東 隆臣 先生

演題：「ジンベエザメにもメンタルの強い弱いがある？」

—水族館が求められる科学的探究」

4. 参加者： 大阪府高等学校生物教員・実習教員（約45名）

感染症予防対策のため、事前登録制といたします。

参加をご希望される先生は裏面の参加確認票に必要事項を記入し、**本部事務局**へE-mailをお送りください。また、下記のQRコードからネットで申し込みいただくことも可能です。

（ネット申し込み頂けるとこちらの業務の効率化が図れるため非常に助かります）



〈連絡先〉

大阪府高等学校生物教育研究会事務局
（府立事務局）大阪府立泉陽高等学校
理科 加藤 励

TEL: 072-233-0588 FAX: 072-233-6645

E-mail: reikt1974@gmail.com

（本部事務局）大阪教育大学附属高等学校池田校舎
生物科 岡本 元達

TEL: 072-761-8473 FAX: 072-762-1076

E-mail: gentatsu0311@gmail.com

演題 「ジンベエザメにもメンタルの強い弱いがある？ —水族館に求められる科学的探究」

発表要旨

日本は世界屈指の水族館大国です。現在、日本動物園水族館協会（JAZA）に加盟している水族館数は49園館、JAZA非加盟園館も含めると、人口当たりの水族館数としては中国と日本が突出しています。つまり、世界中の貴重な生物資源が、ここ日本に集結しているわけです。JAZAでは、水族館が取り組むべき社会的役割として、1)種の保存、2)環境教育、3)調査・研究、4)レクリエーションを挙げています。JAZA加盟園館である海遊館においても、貴重な生物資源をレクリエーションのためだけに利用するのではなく、生物自身やその環境、さらには人間の社会にも還元できるように、様々な取り組みに挑戦しています。その取り組みの一つが調査・研究です。当館では、動植物合わせて約620種30000点の生物を飼育展示しており、本来、これら全種が調査・研究の対象となります。しかし当館は専門的な研究機関ではないため、限られた経営資源を基に、ジンベエザメなど特定の生物に関する調査・研究を推進しています。本講演では、世界的な水族館事業の潮流を紹介しつつ、海遊館が取り組んでいる調査・研究（演題にもありますが、ジンベエザメのメンタルヘルスに関連した動物福祉研究など）について紹介いたします。

講師略歴

奈良県生まれ、岩手大学農学部獣医学科を卒業。

大学卒業後、大阪ウォーターフロント開発株式会社（現 株式会社海遊館）に就職。飼育担当者として、海獣類、陸生哺乳類、爬虫類、両生類、魚類などの管理を行いつつ、獣医師として飼育生物の健康管理に従事。ニフレルの展示設計にも関わり、猛獣類の担当として赴任。現在は海遊館で海獣類（鯨類、鰐脚類、海鳥類）の獣医師として勤務。日常業務の合間を縫って、獣医学および野生動物学に関する研究にも取り組んでいる。

日本動物園水族館獣医師臨床研究会幹事、日本野生動物医学会評議員、日本動物園水族館協会栄養部員などを歴任。日本動物園水族館技術賞、日本野生動物医学会最優秀ポスター発表賞を受賞。